

令和5年度 市長のタウンミーティング（会場：射水市役所）

日時 7月29日（土）午前10時30分～正午

会場 射水市役所 3階会議室302～304

出席者 夏野市長、金谷教育長、小塚企画管理部長、
北財務管理部長、長谷川市民生活部長、小見福祉保健部長、
塩谷産業経済部長、小川都市整備部長、南上下水道部長、
久々江教育委員会事務局長、宮本市民病院事務局長、竹内消防長、
渡邊会計管理者、片口監査委員事務局長、杉本企画管理部次長、
網政策推進課長、森田未来創造課長（司会）

参加者54名

○ 質疑応答

発言者1【小島 男性】

○ 地域の問題である北陸本線の小島踏切の拡張工事について質問したい。私は、近隣に80年近く住んでおり、30年待ってようやく道路の拡張工事に入った。橋げた架け替え工事に続いて大きな問題は、北陸本線の踏切の拡張工事であり、これまでなかなか進まなかったが、ようやく1か月前に工事が始まった。小島踏切から渡ると、駅前、大門町、八塚と常磐町で四つの道に分かれている。そのため、そこが先に工事に着工したと思っている。踏切は通学や通勤で冬は非常に混雑し、すれ違いもできなくて、事故が起こらないことが不思議なくらいだ。工事によって、道路の幅が10メートルになるそうで、通学もしやすくなるため道路の拡張工事には期待している。

しかし、拡張工事に必要な半導体が不足しており、踏切拡張工事は令和8年からと聞いている。半導体の資材が入らないということで、道路拡張と橋の工事のみで中止だと聞いた。通学路である線路の拡張工事だけでも始めていただかないと、子供たちに万が一事故があつてからでは遅い。対策について説明して欲しい。

回答【市長】

○ 小島踏切については、以前から課題になっている。改良をしていく踏切として指定していただいてから、なかなか手をつけることができなかった。理由は、あいの風の本線と貨物が走る民間の線路が混在しており、そのための協議に時間がかかった。ようやく意見がまとまり、目途がたったということで、踏切はまだだが、踏切につながる前後の県道は県が工事をし、橋については市で行

っている。

エリア一体の工事で通行に迷惑をかけているが、まずは前後の環境を整えて、あとは踏切工事をするだけにしたいと考えている。

踏切の工事にいつとりかかれるのかは、私たちも心配している。令和8年からの工事となるのは遅いと私も感じている。道路の拡張工事が終わり次第、遅滞なく工事にとりかかってもらえるよう関係機関にはしっかりと調整していきたい。

踏切の拡張工事といった鉄道関係の工事は、市ではなく鉄道会社の発注になる。これまでの経緯も含めて、地域の方に長い間待っていただいている思いも伝え、早く完了してもらえるよう要請し、協力していきたい。

発言者2【大門中町 男性】

- 資料33ページ、自治体DXの推進について、射水市の推進度が遅いのではないかと思う。日本自体が遅く世界に遅れているが、それに比例している。私は、自治体のDXは自治体間の競争にも関係していると考えている。市はDXの推進に対する認識が遅れており、このままだと自治体の競争に負けるのではないか。

回答【市長】

- DXの推進はデジタル庁をはじめ、国を挙げて取り組んでいることである。各自治体においては、競争という表現のとおり、先を急ぎ争いながら様々なことを行っているという現状である。射水市では、DXビジョンの策定をした。DXビジョンの策定は、県内の中では早い方であり、ビジョンを掲げながら県立大学など様々な関係者と協議しながら、何を取り入れればよいのか一から進めていたが、他の自治体もどんどん新しいことを取り入れ始めている。

現在は、申請窓口で一回一回申請書を書いていただくことなく、事前に入力したものを読み込み、各申請に共有できる「書かない窓口」の導入を進めているところである。また、市役所に来なくても、LINEのアプリを使って、印鑑証明などの証明書を申請できる（証明書の送付は郵送で行う）体制を今年度からスタートさせた。順次充実を図っていきたい。

発言者3【戸破 男性】

- 旧小杉町時代に道路の拡張した道路の売買契約がまだできておらず、市からお金を受け取っていない。土地の権利関係が複雑ということで、登記が進んでいない。用地課が地籍調査を行うことになっているが、地籍調査も進んでいない。地籍調査の予算を付けていただきたい。

- 市長が当選されたときの公約で、「24時間市役所の窓口あける」というのがあった。この公約は継続しているのか。継続していないのであれば、図書館だけでも24時間開館していただきたい。全国的に24時間開館している図書館や夜間セキュリティを強化して無人で開館している図書館もあるようなので、検討していただきたい。

回答【市長】

- 道路の売買契約が長期間滞っていることについては、担当の方で対応させていただきたい。

地籍調査は予算も必要だが、地域の皆さん理解を得た上で進める必要がある。現状の土地の境と公図との差異を調べて、現状を踏まえて土地所有者と確認を行い、土地の地籍を修正していくことになる。調査によって、有利になる場合もあれば不利になる場合もある。土地の公図と現状を正確に反映しておかないと売買の時に困るという共通認識を持ち、地域として地籍調査をやるという同意いただいてから取りかかっていくものである。射水市の中でも地籍調査をやっていないところはまだまだある。地籍調査をすることによって、売買や空き家の有効活用につながる可能性がある。地域の方に協力いただけるよう進めていきたい。

- 24時間窓口についてだが、庁内で検討しながら進めたが、休日窓口が精一杯であった。現状、守衛がいるので、戸籍の届出などは受け取ってもらうことができる。

図書館については、電子図書システムの導入のほか、運営のノウハウは民間や全国の例を参考にさせていただきながら、図書館の24時間使えるようにという意見を踏まえて考えていきたい。

発言者4【南太閤山 男性】

- 資料31ページの「自然と文化が守られ、次世代に受け継がれている」ということに関して、恵まれた自然環境を保全ということだが、市ではどのように把握しているのか。
- 南部丘陵には木がたくさんあると思われているが、近年、林野庁の関係で再生可能エネルギーの材料という名目で伐採が進んでいる。裸山まではいかないが、木がないところが多々ある。先日の線状降水帯で被害はなかったが、森林は保水効果があり、雨水をすぐに下に流さない役割をしてくれる。木が切られていたらどうなるか。

南部丘陵南側の旧婦中町地区で終末処理場が建設予定である。上流で何かあったら、下流にある射水市は災害が起きる可能性がある。どのような汚染が

発生するかもわからない。また、庄川上流の岐阜県飛騨地方でも終末処理場が建設される予定で、庄川が汚染されたらどうなるかという問題もあり、反対運動を起こそうという声もきいている。

回答【市長】

○ 木の伐採に関しては、手入れをしないと森林は荒れてしまうため、間伐しながら地面まで陽が入るようにする必要がある。お話いただいたことを踏まえて実態を確認する。

○ 下条川の上流（旧婦中町）で整備している終末処理場に関して、行政の管轄が異なるため、市に権限はない。しかし、何かあった場合に市に水が流れてくる影響は否定できない。安全性の確保は申し入れをし、情報収集しながら注視していきたい。

庄川上流の岐阜県で業者が申請している処理場については、許可の権限が岐阜県にある。何年か前に申請が出された時は、岐阜県で厳しく審査し、訂正するよう返された。業者が訂正箇所を直して、再申請されたのが最近のことである。この件に関して、影響を懸念し、庄川沿線の関係の皆さんで声をあげている。岐阜県にも話をしているが、高山市など関係市と情報共有をしている。今後も状況を注視し、必要な場合には声をあげて説得していく。

発言者5 【二口 男性】

○ 日常の行事などで、運動をしておりコミュニティセンターを使っている。スケールが大きくなった場合、コミュニティセンターではできないため、大門総合体育館や大門総合会館などを利用するときがある。総合会館も体育館もなくなると耳にするが、現在どのように考えているか。

回答【市長】

○ 現在、市で保有している公共施設は、年数が経つと立て直しや大規模な修理が必要になる。全施設の修理をするとなるとかなりの経費が必要という試算が出ている。全て維持するのは無理であるため、今ある公共施設の面積の2割を減らすという大まかな計画を立てている。そのため、どの施設で何ができるかをまとめており、体育館については、小杉のアルビス小杉総合体育センターと新湊アイシン軽金属スポーツセンターの2つにできるのではないかと検討している。

また、文化施設は新湊中央文化会館と小杉文化ホール、大門総合会館の3つがあるが、1つにできるのではないかと検討している。体育館はまだであるが、

文化施設は具体的な調査検討を進めている。現段階では、新湊中央文化会館と小杉文化ホールを1つにできないかと考えている。どちらかに集約するか、両方を廃止して新しいものを建てるか検討中である。大門総合会館は、文化施設というより、会議室などの貸出しニーズが高いため、文化施設の集約には入れていない。民間との連携で新たな活用方法を見つけようとしている。

体育館は2つにできないかという案であるが、部活動の地域移行が進んでいる中で、学校の体育館も活用しても、活動場所の確保が課題になるのではないかと心配している。部活動の地域移行は活動の拠点がないと難しいことから、体育館を2つにするかどうかは全体的に把握して、施設の見直しをする必要がある。